

# ☆「ほうき星」現る！ ～ ネオワイズ彗星 ～

七夕を過ぎましたが、**夜空に彗星が現われています。**

尾を出した彗星の姿が箒（ほうき）のように見えるので、昔の人は「ほうき星」と呼びました。外国ではコメットと呼ぶそうですが、これは髪の毛という意味だそうです。

今回やってきたのは、今年の3月にアメリカの天文衛星ネオワイズにより発見された彗星で、人工衛星の名前が付けられました。彗星には発見者の名前が付けられることになっていますが、人工衛星の名が付くとはおもしろいですね。1996年に地球に接近した大彗星「百武彗星（ひゃくたく）」は、九州地方在住のアマチュア天文家の百武さんが発見したものです。彗星発見を主な目的に観測にされている方で、このときは、ほぼ同時に2つの彗星を発見されています。このような方々は「コメットハンター」と呼ばれています。



石垣島天文台HPより

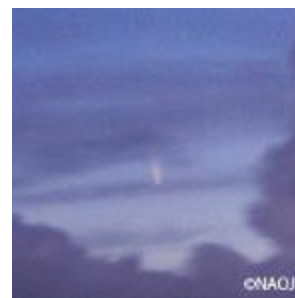
当初ネオワイズ彗星は小さい彗星なので、観測できるとは期待はされていなかったのですが、現在は1等級くらいまで明るくなっているそうです。国立天文台によると

- ・7月前半には明け方の北東の低い空に見られます。  
※7/15頃：朝方の北東の空、又は夕方の北西の空で、水平線から高さは8～9度、明るさは2等級
- ・7月半ばを過ぎると高度が低くなり、見えづらくなります。
- ・7月後半になると、夕方の北西の低い空に見えるようになります。  
※7/20頃：夕方の北西の空、水平線からの高さは20度、明るさ3等級  
※夕方の空では、日を追うごとに地平線からの高度が高くなり、見やすい位置になります。ただし、明るさは徐々に暗くなっていきます。双眼鏡があれば観測しやすいですね。挑戦してみましよう！

## ☆見つけられたらLucky！

しかし、今回の観測は、条件がすこし難しく、見つけられたらラッキーです。

- 難点1 彗星は肉眼だと「ぼんやりとした星」でわかりづらい
- 難点2 観測できる時間帯が、朝方や夕方で、空が明るい
- 難点3 低い位置なので、開けた場所や高い建物からでない観測しづらい
- 難点4 梅雨の時期で晴れない
- 難点5 この彗星は、明るく尾を出す期間が短い



石垣島天文台HPより

## ☆アクセスしてみよう！

5月にみずがめ座流星群がありました。彗星と流星群は深い関係があります。先日の7/2には関東地方で大流星が観測されましたね。見たかったですね。彗星や流星について、知りたくなったら、国立天文台HPにアクセスしてみよう！

### ■関連する動画やHP、授業《3年理科 単元4地球と宇宙》

- 1 国立天文台HP；ほしぞら情報(速報)  
<https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2020/07-topics05.html>
- 2 国立天文台HP；彗星とはどのような天体か(解説)  
<https://www.nao.ac.jp/astro/basic/comet.html>
- 3 石垣島天文台HP；ニュース  
<http://www.miz.nao.ac.jp/ishigaki/content/news20200707>
- 4 すばる望遠鏡HP；マウナケアに昇るネオワイズ彗星(動画有)  
<https://subarutelescope.org/jp/news/topics/2020/07/08/2870.html>

